

## 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	信越自然郷“ふるさと”プロジェクト～自転車編～		
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 信州いいやま観光局 (信越自然郷アクティビティセンター) 0269-62-7001		
事業区分	特色ある観光地づくり、その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	1,891,707	円 (うち支援金 :	1,300,000 円)

### 事業内容

信越自然郷のアウトドアや自然の魅力や文化的資源を自転車により体感する体験型観光コンテンツとして提供し、エリア内の周遊観光や活性化につなげる事業を実施した。

- ① E-BIKE を活用した地域観光コンテンツの磨き上げ  
→E-BIKE の導入による山岳高原コースや広範囲での周遊促進をはかり、信越自然郷エリア内でのレンタサイクルネットワークの構築した
- ② 通年誘客を目指す「期間型・分散来訪」での地域情報発信する「#信越ペダルキャンペーン」の実施  
→コロナ禍に対応した地域連携での誘客キャンペーン
- ③ オフロードコースを活用したツアーの実施  
→エリアの特徴的なフィールド活用した体験造成

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①アクティビティセンターを中心に、エリア内複数のサイクルステーションにて E-BIKE のレンタルを実施した。昨年度比 413%のレンタル稼働があった。
- ②サイクリングにより期間型、分散型の時代に則したキャンペーン実施により、SNS 投稿 1000 件以上、地域飲食店への来訪促進などの効果があった。
- ③E-BIKE 及びオフロード環境を活かした地域ならではの魅力あるコンテンツ造成を行った。

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

継続2年目の事業として、コース整備や E-BIKE をフックとした自転車レンタルのネットワーク体制が整いはじめ地域内においても、自転車活用の機運が高まってきている。レンタル稼働においても増加傾向にあり、自転車が楽しめる地域としての認知が地域内外へ広がりつつある。

信越自然郷エリア広域での取組みとして、各地域や観光施設、飲食店などとの情報共有や連携強化をはかり、地域全体でのサイクルツーリズム受入体制のさらなる整備へつなげていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【分散期間型キャンペーンによる発信】

#### 【目標・ねらい】

- ① 自転車をフックとした信越自然郷およびそのアウトドア環境の認知拡大
- ② エリア内周遊を促し観光消費額の増加

#### ※自己評価【 A 】

#### 【理由】

いち早く E-BIKE 導入したことによる話題性や利用の増加、あらたな生活様式にフィットした情報発信により、広域地域におけるサイクルツーリズムの取組みを地域内外へ発信することができた。